



前橋市立山王小学校

4年社会 授業レポート

単元名：わたしたちのくらしとごみ

ねらい：人々の健康や生活環境を支える廃棄物を処理する事業について、ごみを減らして環境を守るために自分たちにできることを話し合う活動を通して、地域社会の一員として自分にできることを考え、選択・判断することができる。

ムーブノート

1 本時のめあての確認



T:もしこのままごみが処理できないと、どんなことが起こるかな？

C1:自然が汚れる！

C2:うめ立て地にうめればいい。

T:でも、うめ立て地がいっぱいになったらどうしたらいい？

C3:困る！

T:じゃあ、**ごみを減らすために自分がしたい取組を決めよう。**

2 活動の見通し



児童が円滑に活動に取り組めるよう、活動の手順・話し合いの観点について、教師が板書をもとに説明します。

T:前の時間にみんなが考えた取組について、「**自分ができるか**」という視点で班で話し合っ、一つに決めてね。

出かける時は水筒を使う。

これはできそう！

3 班ごとに話し合い



ペットボトルの再利用とどっちがいいんだろう。

児童たちは、各班の「広場」に入り、お互いのごみ削減アイデアカードについて話し合います。話し合いののち、「自分にもできそうだ」と感じた取組に対し、**拍手ボタン機能**を用いて「拍手」を付けました。

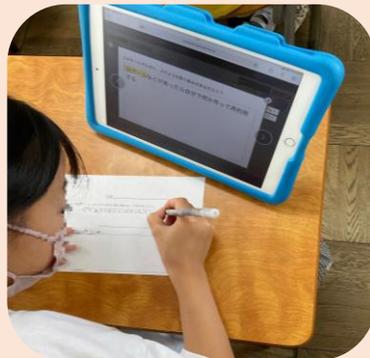
ムーブノート

4 各班の「広場」の共有

発表の前に、各班のごみ削減アイデアカードを「拍手」の多い順に並べ替えさせました。こうすることで、各班の主要な意見が見取りやすくなるとともに、「**拍手**」の少ない意見を取り上げることで、児童に新たな気付きを促すこともできます。

ムーブノート

5 実践したい取組の決定



挙げられた取組の中から、自分が実践してみたいことを一つ選び、理由とともにワークシートに記入しました。さらに、書き終えたワークシートを撮影し、クラスの「広場」に送信することで、それぞれの考えを共有することができました。

ムーブノート

6 振り返り



買う前に本当に必要か考える。

授業の終わりに、自分が選んだ取組について発表しました。

T:**どうしてそれを選んだの？**

C:今まではちゃんと考えられていなかったから、これからは考えていきたい。

教師が問い返すことで、これまでを振り返り、今後に生かそうという気持ちをもつことができました。